

hm HIGH MAIL CO., LTD. ハイメール化成株式会社

品質と対応力を極めながら お客様の信頼120%をめざして

野菜や雑貨、繊維製品、DMなど、
様々な商品を包むポリプロピレンフィルムパッケージの、
グラビア印刷・スリッター・サイドシール製袋を一貫生産する。
変動する市場に対応し、競合他社との差別化を図りながら、
しっかりお客様のニーズに応え、品質を極め続けたい。



グラビア印刷品質検査装置の導入による印刷技術及び顧客評価の向上実現 CCMシステム導入で生産プロセス改善と付加価値向上を実現 産業用サーマルプリンター搭載による高付加価値パッケージの提供

1. 取り組みの経緯

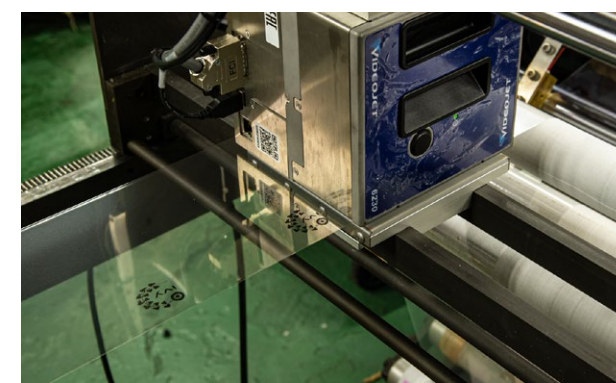
ポリプロピレンフィルムパッケージの印刷・製袋について、需要は増えているものの他社との競争が年々厳しくなり、品質信頼性の向上、生産効率のアップ、廃棄ロスの削減などが課題であった。特に、品質検査装置がないために受注を逃すこともあり、ベテランオペレーターの経験に頼っている技術の継承も急務であったことから、工程の自動化・システム化をめざした。



▲印刷柄検査装置で精度の高い検品を実現

2. 実施内容

顧客ニーズに沿うために設備機器を順次導入。品質検査装置で、インキ汚れや異物混入を高精度で検出し、画像やデータ確認により効率化と生産レベル向上を図る。コンピューターカラーマッチングシステムでは品質の安定化とインキ使用量削減を実現。製袋機にサーマルプリンターを搭載することで、「QRコード」や「生産者名」印刷を短納期・低コスト化し、自社のネットショップも展開した。



▲産業用サーマルプリンターを導入

3. 取り組みの成果

検品のための人件費や印刷やり直しによる原材料のロスを削減できた。色合わせの数値化・標準化で、要求される熟練度が低減され、生産性が向上。インキの長期在庫も解消した。シリーズ品への信頼度が増し、競争力強化につながる。QRコードや生産者名の印刷が版なしで少量にも対応可となり、需要の取りこぼしを解消。初期費用がネックとなっていた新規市場開拓にも取り組んでいきたい。



▲コンピューターカラーマッチングシステムを導入

事業者から一言 機械が未来を拓いてくれた

お客様の要望が多様化・高度化しており、継続受注のためには品質向上と効率化が大きな課題でした。ベテランオペレーター頼みの技術を形式知化していく必要もありました。この補助金をいただくことで、自社の体力では難しい機械設備の導入が実現し、未来に向かって新しい展望を拓くことができました。



取締役
杉崎 弥生氏

ハイメール化成株式会社

〒770-0002
徳島県徳島市春日2丁目4番5号
Tel.088-631-3302 Fax.088-633-3344
●代表取締役 杉崎 等
●設立年月日 昭和62年9月
●資本金 1,500万円
●業種 プラスチック製品製造業
●従業員数 12名
●ホームページ <https://highmail-kasei.hp.gogo.jp/>